

2017年10月30日

報道関係各位

株式会社フジタ

代表取締役社長 奥村洋治

**■ミャンマー エーヤワディ地域における  
もみ殻を燃料とした発電事業に着手**

大和ハウスグループの株式会社フジタ(本社:東京都渋谷区、社長:奥村洋治、以下「フジタ」)は、ミャンマーにおいて各種農業関連事業を手掛ける Myanmar Agribusiness Public Corporation (MAPCO) Limited(以下「MAPCO 社」と合弁で Myaung Mya FM Biomass Power Co., Ltd を設立し、もみ殻を燃料とした発電施設を建設し、電力を販売する事業に着手しました。

2017年10月28日に本事業の公表式を行い、式典には、ミャンマーエーヤワディ管区電力工業大臣 Win Htay 氏、同管区環境農業大臣 Ba Hein 氏、事業パートナーである MAPCO 社の取締役 Kyaw Kyaw Win 氏と Thaug Win 氏、当社の執行役員佐伯義雄など関係者約120名が出席しました。



10月28日 式典の様子

エーヤワディ地域は、ミャンマーの主要産業である稲作が盛んな地域ですが、電力システムの末端地域に位置し、慢性的な電力不足のため、精米工場の安定稼働と品質の確保が課題となっています。また、精米工場から発生するもみ殻の不法投棄や、もみ殻を燃料とした旧式の自家発電設備から発生する有害物質による環境問題も発生しています。

本事業の発電施設建設は、環境省の平成 28 年度から平成 30 年度二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金(二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業)の交付を受け、実施されます。現在有効な活用ができていない、精米工場から発生するもみ殻を燃料とした効率の良いバイオマス発電事業を実現することにより、エーヤワディ地域における低炭素コミュニティ形成に寄与していきます。

フジタは、引き続き、再生可能エネルギー発電事業及び EPC 事業<sup>\*1</sup> に積極的に取り組んでまいります。

## プロジェクト概要

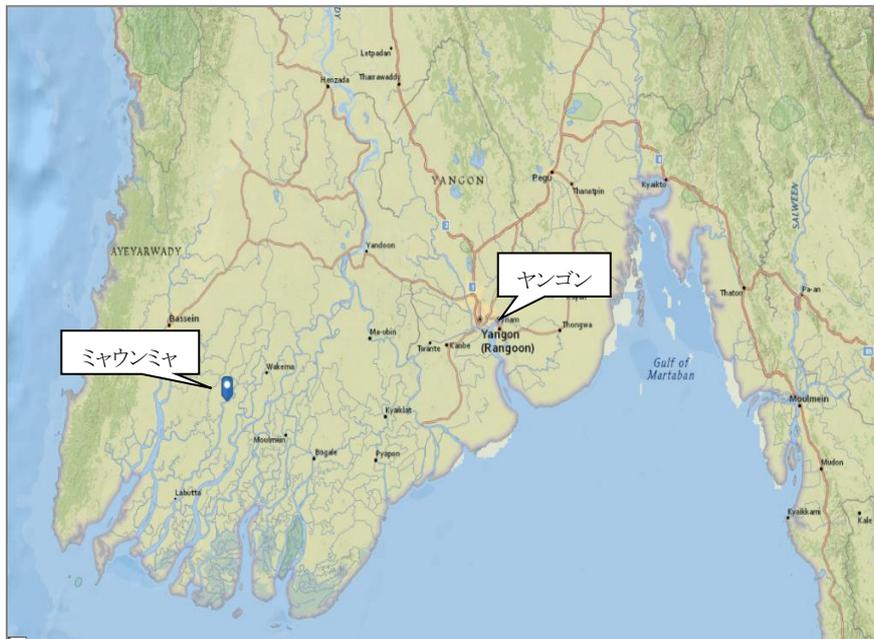
### ◆事業概要

名 称	:	(仮称)Rice Husk Power Generation PJ
所在地	:	Danone Chaung Taung Village, No.22, Motesoe Field, Myaung Mya Township, Myaung Mya District, Ayeyarwaddy Region, Myanmar (ミャンマー連邦共和国エーヤワディ管区ミャウンミャ県ミャウンミャ)
事業内容	:	もみ殻を燃料としたバイオマス発電施設の建設、電力の販売
計画設備	:	出力 1,816kw (自家消費分 201kw 売電分 1,615kw) 稼働時間 24 時間/日 330 日/年 発電量(売電) 38,760kwh/日 12,790,800kwh/年 燃料(粃殻量) 55.2t/日 18,216t/年
事業者名	:	Myaung Mya FM Biomass Power Co., Ltd (出資比率:株式会社フジタ 80%、MAPCO 社 20%)
設計	:	株式会社フジタ
施工	:	株式会社フジタ

### ◆完成予想図(※赤枠部分が発電施設)



◆位置図



※1 EPC 事業

EPCとは、設計(engineering)、調達(procurement)、建設(construction)の略。設計、資機材調達、建設工事を含む一連の流れのことを指し、プラント建設において工程全体を請け負うこと。

【お問い合わせ先】

株式会社フジタ

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

広報室／門田

TEL 03-3402-1911